

人権教室教材一覧（中学校用）

番号	内容項目	道徳的価値	カテゴリー	タイトル	時間	備考
1	B-9	相互理解, 寛容	人権一般	<u>リスペクトアザース</u>	50分	冊子掲載
2	B-6	思いやり, 感謝	人権一般	<u>電車内に咲いた、笑顔の花</u>	50分	冊子掲載
3	D-19	生命の尊さ	いじめ	<u>いじめをなくすために、今</u>	50分	冊子掲載
4	C-18	国際理解, 国際貢献	外国人	<u>本当の国際化とは</u>	50分	冊子掲載
5	B-9	相互理解, 寛容	性的指向, 性自認	<u>みんなで考えるLGBTs①いろいろな性～ 好きになる性～</u>	50分	冊子掲載
6	B-8	友情, 信頼	デートDV	<u>STOP! デートDV</u>	50分	冊子掲載
7	C-12	社会参画, 公共の精神	障害のある人	<u>共に生きるということ</u>	50分	冊子掲載
8	B-6	思いやり, 感謝	障害のある人	<u>障害って何だろう？</u>	50分	冊子掲載
9	C-12	社会参画, 公共の精神	高齢者	<u>明日はわが身 老人介護と助け合い</u>	50分	冊子掲載
10	C-11	公正, 公平, 社会主義	ハンセン病	<u>こんにちは金泰九さん ハンセン病問題から 学んだこと</u>	50分	冊子掲載
11	D-19	生命の尊さ	人権一般	<u>涙に浮かぶ記憶 戦争を次世代に伝えて</u>	50分	冊子掲載
12	C-11	公正, 公平, 社会主義	東日本大震災	<u>温かさを分け合って</u>	50分	冊子掲載
13	C-10	遵法精神, 公德心	インターネット	<u>考えよう！インターネットと人権</u>	50分	冊子掲載
14	C-10	遵法精神, 公德心	インターネット	<u>スマホ・ケータイ安全教室と連携した人権 教室</u>	50分	冊子掲載
15	D-19	生命の尊さ	いじめ	<u>一人じゃないよ</u>	50分	
16	C-16	郷土の伝統と文化の尊 重・郷土を愛する態度	人権一般	<u>五色桜</u>	50分	
17	C-18	国際理解, 国際貢献	外国人	<u>差別のない世界へ</u>	50分	
18	D-19	生命の尊さ	いじめ	<u>いのちのコトバ</u>	50分	
19	D-19	思いやり, 感謝	障害のある人	<u>絆</u>	50分	
20	D-19	生命の尊さ	いじめ	<u>立ち止まる</u>	50分	
21	C-11	公正, 公平, 社会主義	ハンセン病	<u>NO!と言える強い心をもつ</u>	50分	

番号	1030505010	対象年齢層 (学年)	中学生
カテゴリ1 (大分類)	人権全般	カテゴリ2 (小分類)	人権一般
タイトル	リスペクト アザース	難易度	初級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型, 島型		
ねらい	他者との関わりの中で, 自分自身の良さや個性を見出し, それを認め, 伸ばしていこうとする心を育てる。		
教材の 内容	<p>中学生の作者が, アメリカと日本の対人関係を比較しながら, 人権を尊重し合うために何が大切かを考えます。</p> <p>主人公の翔は, 多様な人種の人々が暮らすサンディエゴで, 幼少期から「リスペクト アザース (respect others/他者を尊重する)」という言葉に親しみ, 無意識のうちに, 他者との付き合い方の基本としていた。日本に来て, 人間関係のトラブルや周りの人達との付き合い方を見て, 「ここにはリスペクトアザースがない・・・」と嘆くが, 同時に, 改めてそれが大切な考え方であることを認識する。一方で, サンディエゴの友人の指摘によって, 自分自身が, 周囲の友人一人ひとりに対してリスペクトの心を持っていたらどうか・・・と省みる。</p> <p>※原作:平成24年度第32回全国中学生人権作文コンテスト 法務大臣賞 受賞作品</p>		
備考	使用教材: DVD「わたしたちの声 3人の物語/リスペクト アザース」, ワークシート 使用物品: テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン, プロジェクター及びスクリーン) , 黒板 (ホワイトボード) , SOSミニレター		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	8分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ（「リスペクト／尊重」）について 	
展開	15分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「わたしたちの声 3人の物語／リスペクトアザース」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	6分	内容の振り返り① (記入)	<p>他者との関係で自己のあり方を考えるため、ワークシートを配布し、各自の考えを記入してもらう。</p> <p>〈ワークシートの内容例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVDを観て感じた「リスペクトアザース」について ・今までの自分を振り返り、これからの自分のあり方をどのように考えるか 	
	18分	内容の振り返り② (意見交換)	<p>グループに分かれ、ワークシートの問いに関して、自分が考えた意見を話し合う。その後、グループの代表者に発表してもらう。</p> <p>※発表された意見を尊重するように進行する。</p>	
まとめ	3分	内容のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 ・ 他者の尊重とは ・ 中学時代の感受性等について ・ 他者との比較で自己を見つめ直す大切さ <ul style="list-style-type: none"> ◆ 「子どもの人権 110番」, 「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1040605006	対象年齢層 (学年)	中学生
カテゴリ1 (大分類)	人権全般	カテゴリ2 (小分類)	人権一般
タイトル	電車内に咲いた, 笑顔の花	難易度	初級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型, 島型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と他者との違いを再確認することにより, 他者への思いやりの心を育てる ・社会の一員として行動することで, 個人でも周囲を変える力があることの気づきを促す 		
教材の 内容	<p>中学生の主人公が, 電車内で見かけたおばあさんの降車を手伝うために勇気を出して声かけをする。それにより, 手伝ってくれた周囲の大人達, そしておばあさん本人が「笑顔の花」を咲かせることで, 善意の連鎖に気付く。</p> <p>※原作: 平成25年度第33回全国中学生人権作文コンテスト 法務事務次官賞 受賞作品</p>		
備考	<p>使用教材: DVD「未来を拓く5つの扉/電車内に咲いた, 笑顔の花」, ワークシート 使用物品: テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン, プロジェクター及びスクリーン), SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ（思いやり）について 	
展開	10分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「未来を拓く5つの扉／電車内に咲いた、笑顔の花」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等，担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	10分	内容の振り返り① (記入)	<p>他者との違いを考え，他者のために自分が行動することについて考えるため，ワークシートを配布し，各自の考えを記入してもらう。</p> <p>〈ワークシートの内容例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主人公が電車内でおばあさんの降車を手伝うことを決意したのはなぜか ・ドア付近の男性客をはじめ周囲の人たちがおばあさんと主人公の降車に協力してくれたのはなぜか ・社会を構成する一員として，私たち一人ひとりが意識すべきこととは何か 	
	15分	内容の振り返り② (意見交換)	<p>グループに分かれ，ワークシートの問いに関して，自分が考えた意見を話し合う。その後，グループの代表者に発表してもらう。</p> <p>※発表された意見を尊重するように進行する。</p>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 ・ 他者に関心を持ち，違いを理解することの大切さ ・ 社会の一員として，各自が考え，行動することの大切さ ◆ 「子どもの人権 110番」，「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1030205062	対象年齢層 (学年)	中学生
カテゴリ1 (大分類)	子ども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ
タイトル	いじめをなくすために、今		難易度 中級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型, 島型		
ねらい	・いじめは人権侵害であることを意識してもらう ・命はかけがえのない大切なものであることを理解してもらう		
教材の 内容	<p>中学生の作者が、自らの体験を通して、命の大切さを知り、いじめを傍観することをやめた経験を振り返る。</p> <p>主人公の大輝は幼なじみの拓海くんが同級生の飯嶋くんをいじめているところを目撃する。それを父に打ち明けた際、「お前は自分に何ができるか、悩んでいる・・・父さんはそれが嬉しいよ」と父からエールを送られる。その後、いじめを止めることができなかった大輝は、いじめについて気に掛け、思い悩む。そんな中、主人公の父が突然亡くなってしまふ。父の死後、大輝は、「死」の悲しさ、「死」の意味の重さに気付き、いままで見て見ぬ振りをしていたいじめについて、拓海くん「やめろよ」と言う。拓海くんが飯嶋くん「死ね」「消えろ」と言うのに対し、大輝は、その言葉の重さを問いかける。</p> <p>※原作：平成22年度第30回全国中学生人権作文コンテスト 法務事務次官賞 受賞作品</p>		
備考	使用教材：DVD「わたしたちの声 3人の物語／いじめをなくすために、今」、ワークシート 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー（またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン）、SOSモニター		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ（いじめ）について 	
展開	15分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「わたしたちの声 3人の物語/いじめをなくすために、今」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	10分	内容の振り返り① (意見交換)	<p>周りと意見交換し思考を深めるため、グループに分かれ、話し合いをしてもらう。</p> <p>〈話し合い例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめを発見したときにどのような行動をとればいいのか ・いじめをなくすために、いじめをさせないためにクラスで取り組んでいくこと 	
	15分	内容の振り返り② (発表)	<p>各グループでまとめた意見を代表者に発表してもらう。 全グループの発表が終わった後、出た意見をまとめ、講評する。</p>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 ・ 命の大切さ ・ いじめの傍観をやめ、いじめを止めることによって大切な命を守る ◆ 「子どもの人権 110番」、 「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1080205043	対象年齢層 (学年)	中学生
カテゴリ1 (大分類)	外国人	カテゴリ2 (小分類)	偏見, 差別的取扱い
タイトル	本当の国際化とは	難易度	中級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	椅子なし型		
ねらい	一人ひとりが、外国人に対する態度について考えるとともに、文化等の違いや多様性を認めて尊重し、外国人に対する偏見や差別をなくしていくことの大切さを学習する。		
教材の 内容	<p>主人公はヘイトスピーチに関するニュースにショックを受け、2年前の出来事を思い出す。コンビニの店員に非はないにもかかわらず、説明しようとしていた外国人の店員に向かって、ある客が突然怒鳴り声をあげ、「外国人は黙っておけ。」と罵倒した。周りにいた客は無関心に店を出て行ったが、自分も傍観者であったことに気付く。そうした罵倒は、その店員にとって心の傷として一生残り続けるのではないかと考える。</p> <p>偏った価値観や、国籍などの情報にとらわれることなく、同じ人間としてその人の内面を捉え、互いの人権を尊重し合う社会を共に築くために、本当の国際化とは何かを考え、行動できる大人に成長していくことを決意する。</p> <p>※原作：平成25年度第33回全国中学生人権作文コンテスト 日本放送協会会長賞 受賞作品</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「未来を拓く5つの扉／本当の国際化とは」 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー（またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン）、SOSモニター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	10分	・人権擁護委員について ・人権について	はじめに (1)始まりの挨拶 (2)人権擁護委員及び活動の紹介 (3)「人権」について簡単なお話	
展開	5分	本日のテーマの概要	外国人を排斥する言動が人権侵害だということを理解してもらうため、下記について説明する。 ・一人ひとり違って当たり前であること ・外国人を排斥する言動が人権侵害であること ・ヘイトスピーチについて	
	10分	人権啓発DVD鑑賞	DVD「未来を拓く5つの扉/本当の国際化とは」を上映する。 ※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。	
	15分	内容の振り返り	自分と同じ中学生の実体験を通して、身近な問題であることを意識させるため、下記のような発問をし、意見を発表してもらう。 〈発問例〉 ・男性客は、店員が日本人だったとしても、同じようにどなただろうか？ ・男性客をとがめたり、店員をかばう人が誰もいなかった理由は？ ・怒鳴られた店員が姿を見せなくなった理由は？ ※発表された考えを尊重するように進行する。	
まとめ	10分	本日のまとめ	◆本日の内容の総論 ◆「子どもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介 人権教室終了後、ワークシートを配布し、各自記入してもらう。 〈ワークシート内容例〉 ・DVDを視聴して、思ったこと、考えたこと ・あなたが普段、身の回りで「人権」について考えたこと	

番号	1150105082	対象年齢層 (学年)	中学生
カテゴリ1 (大分類)	性的指向・性自認	カテゴリ2 (小分類)	性的指向・性自認一般
タイトル	みんなで考えるLGBT s ① いろいろな性～好きになる性～		難易度 中級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル等の当事者は、誤解や偏見に基づく周囲の心ない言動に深く傷ついていること、自己肯定感を育む機会が阻害されること、誰にも言えずにいること等の現状を理解し、人権尊重意識を養う。		
教材の 内容	異性を好きになる、同性を好きになる、両性を好きになる、あるいは誰にも恋愛感情を抱かないといった性的指向は、嗜好や志向とは異なる「指向」であり、本人が選択できるものではないと考えられている。同性愛者（ゲイ、レズビアン）である生徒たちのドラマを見ながら、好きになる性の多様性について考える。		
備考	使用教材：DVD「みんなで考えるLGBT s ①いろいろな性～好きになる性～」、ワークシート 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー（またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン）、黒板（ホワイトボード）、SOSミニレター		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	5分	・人権擁護委員について ・人権について	はじめに (1)始まりの挨拶 (2)人権擁護委員及び活動の紹介 (3)「人権」について簡単なお話	
展開	5分	本日のテーマの概要	現在の日本では非異性愛の性的指向についての肯定的な情報が不足しているため、今回視聴するDVDの概要として「LGBT s」の説明をする。	
	25分	人権啓発DVD鑑賞	DVD「みんなで考えるLGBT s ①いろいろな性～好きになる性～」を上映する。 ※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。	
	5分	内容の振り返り① (記入)	性的少数者に対する偏見や差別的な考えを見直すために、ワークシートを配布し、各自の考えを記入してもらう。 〈ワークシートの内容例〉 ・DVDの登場人物である浩介や玲の友達が、「レズビアンやゲイはキモい」と発言したり、否定的なことを言う場面がありました。彼らはどうしてこういう発言をしてしまうのでしょうか。 ・浩介や玲の本当の気持ちとはどういったものでしょうか。 ・浩介や玲がカミングアウトした時どんな気持ちだったのでしょうか。	
	5分	内容の振り返り② (発表)	自分の意見を発表してもらい、異性愛と同様に同性愛や両性愛もあること、多数の者だけが正しいという思い込みは間違いであり、好きになる性（性的指向）は多様であることを気づかせる。 ※出た意見を板書する。 ※オネエ、ホモなどの不規則発言が出た場合は放置せず、人を傷つけるような言い方をしてはいけないことを講師は注意する。また、当事者生徒の存在に留意する。	
まとめ	5分	本日のまとめ	◆本日の内容の総論 ◆「子どもの人権110番」, 「SOSミニレター」の紹介	

番号	1020305073	対象年齢層 (学年)	中学生
カテゴリ1 (大分類)	人権全般	カテゴリ2 (小分類)	人権一般
タイトル	STOP!デートDV	難易度	上級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	お互いの人権を尊重することの大切さに気付き、交際相手との間でDVの被害者又は加害者にならないように、自分の気持ちや相手の気持ちを考え、対等な関係を築くことの重要性を学ぶ。		
教材の 内容	<p>〈パート①精神的暴力・経済的暴力〉 交際している裕一のこと悩んでいるミナ。裕一は、携帯を勝手に見たり、ミナが友人と会うのを妨害したり、貸したお金を返してくれません。裕一から「バカ、ブス」と言われ続けることで、ミナは自信を失っています。</p> <p>〈パート②身体的暴力〉 加奈は、真也と付き合い出して、だんだん真也が怖くなりました。ささいなことで、突然暴力を振るう真也に怯え、言いなりになることでなんとか暴力から逃れようとしています。</p> <p>〈パート③性的暴力〉 試験勉強のため拓己が晴香の部屋にやってきました。拓己から性的な関係を迫られますが、晴香は拒否します。しかし強引に押し倒されてしまいます。「やめて」と訴える晴香の声も拓己には届きません。</p> <p>〈パート④解説〉 デートDVが起こった時、どうすればいいのか。被害者、加害者、被害者の友人、加害者の友人の立場に分けて、デートDVについての理解を深めます。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「STOP!デートDV」、ワークシート 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー（またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン）、SOSモニター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ (デートDV) について 	
展開	17分	人権啓発DVD鑑賞 (ドラマパート)	<p>DVD「STOP! デートDV」(ドラマパート①～③)を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等, 担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	20分	内容の振り返り	<p>デートDVとは何かを理解し, 自分だったらどうするかを考えるため, ワークシートを配布し, 各自の考えを記入してもらう。</p> <p>〈ワークシートの内容例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あなたが恋人からデートDVを受けているならどうしますか? ・あなたが恋人にデートDVをしているのならどうしますか? ・あなたの友人がデートDVに悩んでいるならどうしますか? 	
	5分	人権啓発DVD鑑賞 (解説パート)	<p>DVD「STOP! デートDV」(解説パート)を上映する。</p> <p>デートDVとなる原因を知り, 被害者, 加害者, 被害者の友人, 加害者の友人の立場に分けて, デートDVについての理解を深める。</p>	
まとめ	3分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆本日の内容の総論 ・他者を大切に, そして自分も大切にすること ・自分の気持ちを伝えることの大切さ ・自分の行動を見つめ直す <ul style="list-style-type: none"> ◆「子どもの人権110番」, 「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1050105017	対象年齢層 (学年)	中学生
カテゴリ1 (大分類)	障害のある人	カテゴリ2 (小分類)	障害のある人一般
タイトル	共に生きるということ	難易度	初級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	障害のある人を弱者，気の毒，かわいそうという考えに陥らず，障害を「個性」として捉え，共に生きていくという認識を持つことの重要性について理解する。		
教材の 内容	<p>主人公の藍が小学生の頃，人権学習の講師として来た視覚障害のある小林さんの話を聞いたことで，これまで自分が持っていた，障害のある人＝弱者である，だから手助けしてあげなければならない，という考え方は，どこかで差別をしていたのかもしれないということに気付き，障害のある人に対する考え方が変わっていく。</p> <p>※原作：平成25年度第33回全国中学生人権作文コンテスト 法務事務次官賞 受賞作品</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「わたしたちが伝えたい、大切なこと／共に生きるということ」，ワークシート 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー（またはパソコン，プロジェクター及びスクリーン），SOSミコレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	3分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ（障害）について 	
展開	13分	本日のテーマの概要	<p>障害に関する基本的知識について、DVDを視聴する前に整理するため、下記のような発問をし、生徒2～3人に発表してもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害にはどのようなものがあるか ・障害のある人にとって、日常生活で困ること、不便なことは？ 	
	7分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「わたしたちが伝えたい、大切なこと/共に生きるということ」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	22分	内容の振り返り	<p>ワークシートを配布し、各自の考えを記入してもらう。</p> <p>〈ワークシートの内容例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小林さんの話を聞いて、藍やクラスメイトたちが学んだことはどのようなことか ・障害のある人が日常生活の中で困ること、不便なことに対して、それぞれ解決策や、自分たちができることは何か 	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 ・ 障害を「個性」として捉え、共に生きていくということについて ◆ 「子どもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1050105000	対象年齢層 (学年)	中学生
カテゴリ1 (大分類)	障害のある人	カテゴリ2 (小分類)	障害のある人一般
タイトル	障害って何だろう？		難易度 中級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型, 島型		
ねらい	私たちが普段よく耳にする「障害」という言葉について改めて考えてみることで、障害のある人を含めた全ての人々にとって住みよい社会とは何であるかについての気付きと理解を深め、自分と他者を尊重していこうとする心の醸成を図る。		
教材の 内容	<p>車椅子バスケットで活躍しているパラリンピアン根木慎志さんが、中学校の体育館で講演を行う。根木さんは、ユーモアのある語り口で参加者である中学生との距離を縮めるとともに、難しいスリーポイントシュートを披露した後、生徒たちと一緒に車椅子バスケットの試合を行う。生徒達は車椅子を操作しながらボールを扱う難しさを実感するとともに、車椅子を巧みに操作してシュートを決める根木さんをすごいと感じる。試合後、根木さんは生徒たちに、「車椅子バスケットが一番上手だった自分に障害があると思うか。」と問いかけ、生徒たちは「ない」と答える。次に、根木さんは生徒たちに、「ここを出て教室に行くためにみんなは階段を上り下りするけれども、僕にはできません。僕が教室に行くために困ってしまう障害とは何だと思うか。」と問いかけ、生徒たちは「階段」と答える。根木さんは、「『障害』とは自分たち障害者にあるのではなく、階段のように社会が作り出しているものであり、社会の努力でなくすことができる。」と説明する。生徒たちは、皆で手伝えれば根木さんも教室にも行けること、障害がなくなることを理解する。私たちの身の回りにある障害として、出入口の段差、点字ブロックをふさぐように置かれた自転車、障害者用の駐車スペースに駐車する健常者、盲導犬の同伴を受け入れてくれないお店を例にあげ、障害者にとっての障害とは何かを問いかける。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「障害って何だろう？」、バリアフリー及びユニバーサルデザインを記載した掲示用用紙及び配布用資料 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー（またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン）、黒板（ホワイトボード）、A2用紙、マジック、付せん、SOSモニター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 本日のテーマ（バリアフリー、ユニバーサルデザイン）について</p>	
展開	5分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「障害って何だろう？」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がないか確認する。</p> <p>プロジェクターの操作等，担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	15分	内容の振り返り①	<p>内容について理解を深めるために，下記のような発問をし，意見を発表してもらう。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根木さんの話を聞いて，「障害」とは何だと思うか？ ・「施設の出入り口に段差があって車椅子の方は施設に入れない。」 「点字ブロックの上に自転車が停まっていた視覚障害者が通れない。」 「障害者用の駐車場に健常者が車を停める。」 「盲導犬を連れて視覚障害者がお店に入るのを断られる。」 <p>といった障害のある人にとっての4つの障害（バリア）を解消するためには，どうしたらよいか？</p>	
	15分	内容の振り返り②	<p>障害のある人の視点に立って「障害（バリア）」を考え，他者の意見を聞くことで，「障害（バリア）」に対する更なる気付きと理解を深めるため，6人程度のグループに分かれ，ワークショップをしてもらう。ワークショップ用として，A2用紙，付せん，マジックを配布する。</p> <p>①各自で視覚障害のある人が生活する上での障害（バリア）を5つ以上考えて，それぞれ付せんに書き込む</p> <p>②グループで付せんを見せ合い，似たような障害（バリア）ごとにまとめた上で，その解消方法をグループ内で検討する</p> <p>③グループごとに意見として出てきたバリア例及びその解消方法について発表を行う</p>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<p>◆本日の内容の総論</p> <p>バリアフリー，ユニバーサルデザインに関する資料を配布する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人権」とは「人間が人間らしく生きる権利」であり，誰もが生まれながらにして持っている権利である ・お互いを思いやる心，困っている人がいたら手を貸してあげようという気持ちが，お互いの「人権」を守っていく <p>◆「子どもの人権110番」，「SOSミニレター」の紹介</p>	

番号	1040105008	対象年齢層 (学年)	中学生
カテゴリ1 (大分類)	高齢者	カテゴリ2 (小分類)	高齢者一般
タイトル	明日はわが身 老人介護と助け合い		難易度 上級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	島型		
ねらい	老人介護の問題は、中学生の年齢とはかけ離れた内容ではあるが、高齢化社会の問題の一つとして、介護者と要介護者の関係から引き起こる問題に気付かせながら、人権を尊重し合うために何が大切かを考える。		
教材の 内容	佐藤さん（75歳）は、健康ですこやかな老後をおくるために、毎日ジョギングを続けている元気なお年寄りである。ある日、その佐藤さんが突然倒れ、救急車で病院に運ばれた。幸い命に別状はなく医師の診断によって、脳卒中であることが判明し、後遺症が左半身マヒという形で残ってしまった。佐藤さん一家にとって、介護という重い負担が突然のしかかってきたのである。介護する者と受ける側の二人三脚の生活の第一歩が始まった。その後、病状も安定し、佐藤さんは退院したが、元の健康な身体ではなく、家族の介護は想像以上のものであり、嫁の幸子は日増しに介護に疲れ、不安を感じていった。		
備考	使用教材：DVD「明日はわが身ー老人介護と助け合いー」、ワークシート 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー（またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン）、SOSモニター		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ（高齢化社会、老人介護）について 	
展開	15分	人権啓発DVD鑑賞	<p>6人程度のグループに分かれ、グループの中で、要介護者（老人）と介護者（お世話する人）の二つのパートに分け、その気持ちになってDVDを視聴する。</p> <p>※グループ分けは事前に準備しておく。</p> <p>DVD（明日はわが身ー老人介護と助け合いー）を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	10分	内容の振り返り① (記入)	ワークシートを配布し、自分の意見を記入させる。	
	10分	内容の振り返り② (意見交換)	<p>グループ内でそれぞれのパートの意見や気持ちを披露する。また、両方のパートの共通点を見出し、その後発表する。</p> <p>(要介護者（老人）側と介護者（お世話する人）側のそれぞれの立場を理解する。)</p> <p>※発表された考えを尊重するように進行する。</p>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 ・ 自分の人権を守り、他人の人権を尊重することの重要性について ・ 相手の気持ちを思いやり、押し量ることの大切さ ・ 相手を傷つけるような言動をしない、させない <ul style="list-style-type: none"> ◆ 「子どもの人権110番」, 「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1090205033	対象年齢層 (学年)	中学生
カテゴリ1 (大分類)	HIV感染者・ハンセン病患者等	カテゴリ2 (小分類)	ハンセン病患者一般
タイトル	こんにちは金泰九さん ハンセン病問題から学んだこと	難易度	上級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型, 島型		
ねらい	ハンセン病とその歴史について正しい知識を深めるとともに、様々な社会の差別や偏見について、情報に惑わされることなく、自ら考え、自ら判断して行動することの大切さを理解する。		
教材の 内容	<p>中学生の主人公が、ハンセン病の元患者である金さんとの交流を通じて、ハンセン病とはどのような病気なのかを正しく理解します。ハンセン病元患者の歩んできた悲しい歴史を知る中で、情報に惑わされることなく、正しく知って正しく行動することの大切さ、人に流されず自分で判断して行動することの大切さに気付きます。また、これらの学びの中で、自分の周りに差別や偏見で困っている人（いじめられている人）がいるのではないかと気付き、自分の行動を見つめ直します。</p> <p>※第33回全国中学生人権作文コンテスト法務大臣賞受賞作品「NO！と言える強い心をもつ」を映画化し、海外映画祭でも高い評価を得た作品です。（挿入歌：「涙そうそう」夏川りみ）</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「こんにちは金泰九さん ハンセン病から学んだこと」、ワークシート 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー（またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン）、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ（ハンセン病）について 	
展開	25分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「こんにちは金泰九さん ハンセン病から学んだこと」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等，担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	5分	内容の振り返り① (記入)	<p>ハンセン病はどのような病気なのかを正しく理解し，ハンセン病患者に対する偏見や差別はなぜ起こってしまったのかを考えるため，ワークシートに自分の考えを記入してもらう。</p> <p>〈ワークシートの内容例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンセン病患者はなぜ偏見を持たれたり，差別されてしまったのか ・差別や偏見はどのように生まれるのか ・差別や偏見を生まないために私たちにできることは何か 	
	10分	内容の振り返り② (意見交換)	<p>差別や偏見を生まないために自分たちのできることについて考えるため，グループに分かれ，意見交換をしてもらう。</p>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 ・ 正しく知って正しく伝える ・ 正しく知って正しく行動する ・ NOと言える勇気をもつ <ul style="list-style-type: none"> ◆ 「子どもの人権110番」，「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1010105031	対象年齢層 (学年)	中学生
カテゴリ1 (大分類)	その他	カテゴリ2 (小分類)	その他
タイトル	涙に浮かぶ記憶 戦争を次世代に伝えて		難易度 上級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	語り部による戦争経験を真摯に受け止めることで、戦争によって失われるもの、いまある平和についての気付きと理解を深め、自分と他者を尊重していこうとする心の醸成を図る。		
教材の 内容	<p>「死に損ない。」 修学旅行で長崎を訪れていた中学3年生の生徒が、爆心地周辺を案内していた語り部の方に対して発した言葉である。なぜこのような心ない言葉が出てくるのか疑問に感じた中学3年生による人権作文の内容を映像化したもの。かつて日本が戦争するに至った背景、特攻隊員の話、残された家族の気持ち、原爆投下による被害、生きて故郷に戻れたのに周囲の態度が冷たかったことなどを改めて学び、こうした経験を経た一人である作者の曾祖父による「戦争はせんことたい。」という言葉の意味を考える。</p> <p>※第34回全国中学生人権作文コンテスト法務大臣賞受賞作品「戦争を次世代へ伝えて」を映画化した作品です。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「涙に浮かぶ記憶 戦争を次世代に伝えて」、ワークシート 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー（またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン）、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ（戦争と人権）について 	
展開	28分	人権啓発DVD鑑賞	<p>ワークシートを配布した後、DVD「涙に浮かぶ記憶 戦争を次世代に伝えて」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	5分	内容の振り返り① (記入)	<p>ワークシートに自分の考えを記入してもらう。</p> <p>〈ワークシートの内容例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語り部に対する「死に損ない。」という言葉について、なぜこのような心ない言葉が出てきたと思うか ・作者の曾祖父による戦争経験を踏まえ、戦争によってどのような人権が侵害されると思うか ・作者の曾祖父による「戦争はせんことたい。」の言葉にはどのような想いが込められていると思うか ・戦争経験を語り継ぐことの意味をどのように考えるか 	
	10分	内容の振り返り② (意見交換)	<p>他者の意見から気付きと理解を深めるために、ワークシートの設問について自分の考えを発表してもらう。</p>	
まとめ	2分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆本日の内容の総論 発表内容を踏まえて、命の大切さを伝える。 ・命を大切にすると、人間が人間らしく生きる権利、生まれながらにして持つ権利、すなわち「人権」を大切にすること ・自分を大切に、他者を思いやり、認めあう心によって、お互いの「人権」が守られていく ◆「子どもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1170305088	対象年齢層 (学年)	中学生
カテゴリ1 (大分類)	東日本大震災に起因する人権問題	カテゴリ2 (小分類)	避難者に対する偏見, 差別的取扱い
タイトル	温かさを分け合って	難易度	上級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型, 椅子なし型		
ねらい	東日本大震災の発生に伴う様々な出来事を通じ, 人の温かさに触れる一方で, 「偏見」や「心ない言動」に接することで, 人権に対する理解と尊重を深めようとする心を育てる。		
教材の 内容	<p>真島満雄は, 東日本大震災で発生した福島原発事故により, 故郷の福島県から伯父が住む埼玉県へ避難するため転校してきた。</p> <p>満雄は, 放射能差別とでもいべき風評被害のニュースや, 福島に残っている父親からの話に悲しみを覚えると同時に, 「震災」という出来事がたくさんの「人権」に関わっていることに気付く。</p> <p>放射能がうつると思われるのでは, と周りの目が怖くなり悩んでいる満雄に対し, クラスメイトの海斗や優花は, お互い分かり合おう, 分かり合いたいと歩み寄っていく。</p> <p>満雄は, 「震災」を通して, たくさんの人の支えと温かさを知ることとなる。</p> <p>※原作:平成23年度第31回全国中学生人権作文コンテスト 文部科学大臣奨励賞 受賞作品</p>		
備考	<p>使用教材: DVD「わたしたちの声 3人の物語/温かさを分け合って」, ワークシート</p> <p>使用物品: テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン, プロジェクター及びスクリーン) , 黒板 (ホワイトボード) , SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 本日のテーマ（福島原発事故の風評による「偏見」や「差別」）について</p>	
展開	15分	人権啓発DVD鑑賞	<p>ワークシートを配布した後，DVD「わたしたちの声 3人の物語/温かさを分け合って」を上映する。</p> <p>①チャプター 1「人権作文コンテスト概要とドラマ紹介」</p> <p>②チャプター 2「温かさを分け合って」</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等，担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	15分	内容の振り返り	<p>内容について理解を深めるために，下記のような発問をし，意見を発表してもらう。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満雄，海斗，優花は，放射線被ばくの風評による「偏見」や「差別」に対する思いや考え方について，それぞれどんな変化があったか。 ・風評による「偏見」や「差別」をなくすため，自分にできることは何か。 	
まとめ	10分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・人権に対する意識や考え方の変化について感想を聞く。 ◆本日の内容の総論 人権の尊重とは ◆「子どもの人権110番」，「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1030105026	対象年齢層 (学年)	中学生
カテゴリ1 (大分類)	インターネットによる人権侵害	カテゴリ2 (小分類)	インターネットによる人権侵害一般
タイトル	考えよう！インターネットと人権		難易度 中級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	島型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットによる人権侵害の「被害者」, 「加害者」にならないために気を付けることは何かを理解する ・インターネットによる人権侵害被害にあった場合の対処法や相談方法などを知る ・相手に対する思いやりや優しさをもつことの大切さを理解する 		
教材の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・資料「考えよう！インターネットと人権」(パワーポイントで上映) …インターネットの利便性と危険性の実例などを紹介 ・ワークシート1…インターネットを使用して良かったこと, 困ったこと ・ワークシート2…インターネットによる人権問題の被害者, 加害者にならないためには ・冊子「あなたは大丈夫？考えよう！インターネットと人権」 …企画：法務省人権擁護局, 制作：公益財団法人人権教育啓発推進センター 		
備考	<p>使用教材：資料「考えよう！インターネットと人権」, ワークシート2種類, 冊子「あなたは大丈夫？考えよう！インターネットと人権」</p> <p>使用物品：パソコン, プロジェクター及びスクリーン, SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 資料「考えよう！インターネットと人権」(パワーポイント)を参照しながら、本日の内容を説明する。</p>	
展開	10分	展開① (意見交換)	<p>グループに分かれる。</p> <p>① グループワーク ワークシート1を使用し、インターネットを使って便利だったこと、困ったことについて、各グループにおいて意見交換をする。</p> <p>② グループ意見の発表 各グループにおいて出た意見を発表してもらい、インターネットの利便性、危険性について全体で共有する。</p>	
	10分	パワーポイント上映	資料「考えよう！インターネットと人権」(パワーポイント)を参照しながら、インターネットが引き起こす問題について、事例を基に説明する。	
	15分	展開② (意見交換)	<p>① グループワーク ワークシート2を使用し、インターネットによる人権侵害の被害者、加害者にならないためにはどうすればよいか、各グループにおいて意見交換をする。</p> <p>② グループ意見の発表 各グループにおいて出た意見を発表してもらい、まとめる。 また、冊子「あなたは大丈夫？考えよう！インターネットと人権」13ページから16ページを参照し、被害者、加害者にならないための注意点について再確認する。</p>	
まとめ	10分	本日のまとめ	<p>◆ 本日の内容の総論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットは便利なものだが、使い方によって人を傷つけることもある ・些細なできごとが、大変ないじめなどに発展することがある ・被害者、加害者にならないための心構え ・相手に対する思いやりや優しさをもつことの大切さ ・インターネットによる人権侵害にあった場合の対処方法や相談窓口について <p>◆ 「子どもの人権110番」, 「SOSミニレター」の紹介</p>	

番号	1120105038	対象年齢層 (学年)	中学生
カテゴリ1 (大分類)	インターネットによる人権侵害	カテゴリ2 (小分類)	インターネットによる人権侵害一般
タイトル	スマホ・ケータイ安全教室と連携した人権教室		難易度 中級
時間	50分	対象人数 の目安	2学級80人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型, 椅子なし型		
ねらい	株式会社NTTドコモ実施のスマホ・ケータイ安全教室と連携し, スマートフォンを中心に, トラブルを未然に防ぐための知識や心構えを学んでいただくとともに, 具体的な事例をスライドで紹介しながら説明する。また, インターネットやSNS上で人権侵害をされた際の法務局への相談方法について具体的に紹介する。		
教材の 内容	①株式会社NTTドコモ実施 スライドや再現ドラマによるスマホ・ケータイ安全教室 (40分) ②法務局実施 インターネット上の人権侵害に関する講話 (10分)		
備考	使用教材: スライドデータ 使用物品: 投影用機材, スクリーン (大型テレビ), PC用スピーカー, マイク, アンプ, SOSミニレター		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	2分	スマホ・ケータイ安全教室の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶（自己紹介，本日の進め方について） ・スマホ，ケータイの主な使用場面について 	
展開	10分	<p>〈SNSについて〉 情報を公開するときに気を付けること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再現ドラマの上映 ・内容のまとめ 	<p>◆SNS（Twitter，Instagram，Facebook等）を使用する上での身近に潜む危険性と気を付けたいこと</p> <p>【自分や友達の情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報を載せることの危険性 ・友だちの写真や動画を勝手に投稿すること <p>〈まとめ〉SNSで気を付けること①</p> <p>【姿の見えない人とのやりとり】</p> <p>～再現ドラマ：なりすまし 視聴（3分32秒）～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報を載せることの危険性 ・友だちの写真や動画を勝手に投稿すること <p>〈まとめ〉SNSで気を付けること②</p> <p>【軽はずみな投稿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽はずみな投稿による危険性 <p>〈まとめ〉SNSで気を付けること③</p>	
	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・再現ドラマの上映 ・内容のまとめ 	<p>◆コミュニケーションアプリを使用する上での危険性と気を付けたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字だけでのやりとりは気持ちが伝わりにくい <p>～再現ドラマ：友達を追い詰めるメッセージ 視聴（4分38秒）～</p> <p>〈まとめ〉コミュニケーションアプリで気を付けること</p>	
	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・再現ドラマの上映 ・内容のまとめ 	<p>◆スマホなどでの時間の使い方</p> <p>～再現ドラマ：チャットのストレス 視聴（3分20秒）～</p> <p>〈まとめ〉使いすぎに気を付けること</p>	
	3分	<p>トラブルにあわないためのサービスを紹介</p>	<p>◆トラブルにあわないために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィルタリングサービスについて 	
まとめ	5分	スマホ・ケータイ安全教室のまとめ	<p>◆スマホやケータイをスマートに使うルールやマナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入サービス ・歩きスマホ，ながらケータイ ・スマホやケータイを使うときに覚えておいてほしいこと 	
	10分	法務局による講話	<p>【法務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット上のトラブルの解決方法 ・法務局への相談方法について ・相談窓口（電話相談，インターネット相談）の紹介 	

番号	1030205030	対象年齢層 (学年)	中学生
カテゴリ1 (大分類)	子ども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ
タイトル	一人じゃないよ	難易度	中級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	島型(6人×6グループ程度)		
ねらい	<ul style="list-style-type: none">・「いじめ」は、重大な人権侵害であり、生徒一人一人がその根絶に向けた努力が必要であることに気付かせる。・「いじめ」を傍観することの問題や「いじめ」の態様を認識させる。・「いじめ」の解決策を考えさせる。		
教材の 内容	<p>教材は「全国中学生人権作文コンテスト」入賞作品であり、作品の内容は、中学1年生の作者が、自らの小学生の時に体験したことを通して、改めて、いじめを傍観することの問題や解決の方法などについて考えや決意を表明した内容となっている。</p> <p>当該作品を読み解くことにより、「いじめ」は、重大な人権侵害であり、生徒一人一人がその根絶に向けた努力が必要であることに気付かせることを目的とするものである。</p>		
備考	使用教材：作品「一人じゃないよ」、ワークシート 使用物品：人権啓発物品、ホワイトボード及びその筆記用ペン（黒・赤各1本）、長机・椅子1セット、SOSミニレター		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ（いじめ）について 	
展開	5分	作品黙読	作品「一人じゃないよ」を黙読する。	
	15分	展開①	周りと意見交換し思考を深めるため、グループに分かれ話し合いワークシートに記入してもらう。	
	20分	展開②	<p>各グループでまとめた意見を代表者に発表してもらう。</p> <p>全グループの発表が終わった後、出た意見をまとめ、講評する。</p>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 ・ 「いじめ」は人権侵害で、絶対やってはならないこと ・ 思いやりや優しさ、勇気を身につけることの大切さ ◆ 「子どもの人権 110番」、 「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1030505013	対象年齢層 (学年)	中学生
カテゴリ1 (大分類)	子ども	カテゴリ2 (小分類)	その他
タイトル	五色桜	難易度	中級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型 椅子なし型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会の一員としての自覚を持ち、郷土の歴史に対する理解を深め、明日の発展に尽くそうとする態度を養う。 ・生命の有限性や尊さを感じ取り、かけがえのない自他の生命を大切にし、輝かせようとする心情を養う。 		
教材の内容	<p>江戸時代のころから、荒川堤は村民の生活には欠かせない便利な道だった。堤沿いにあった沼田村の当時の戸長の清水謙吾は、村民の長年の夢であった荒川堤の道の改修工事を成し遂げたり、寺子屋で新時代に対する世界情勢と郷土の現状把握の重要性を説くなど村民の子弟教育を積極的に行っていた。</p> <p>ある日、謙吾は、改修工事の終わった荒川堤を、さらなる沼田村の繁栄のため、桜堤にすることを子弟たちに提案した。子弟たちは夢のような突然の提案に戸惑ったものの、一致団結し、村民全員で協力して桜の苗木を植樹した結果、全長6キロメートルに渡って78種3225本もの苗木が次々と植樹されていった。その後、濃紅色、紅色、淡紅色、白色、黄色などの里桜が咲きそろうようになると、「五彩の雲をたなびかせ」と言われ、五色桜の名声は東京中にとどろくようになった。そして、その美しさは海外にも認められ、当時の東京市長尾崎行雄によって、アメリカのワシントン市にも送られることとなった。</p> <p>ところが、明治44年、荒川放水路工事のために、千数百本の堤桜は切られ、その後衰退してしまっただが、地元足立区（昔の沼田村）の人々の「五色桜の復活」を願う強い希望により、昭和56年、昔とは反対にワシントン市から、一世の五色桜の枝木三千本が里帰りした。そして現在まで、「里帰り桜」は、地元の公園や区内の小中学校に植樹され、毎年見事な花を咲かせるようになったのである。</p>		
備考	<p>使用教材：道徳教材「かけがえのないきみだから」、ワークシート</p> <p>使用物品：人権教室横断幕、SOSモニター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマについて 	
展開	10分	教材の音読	<p>教材「五色桜」を音読する。</p> <p>音読後、沼田村の「五色桜」のように、自分の住んでいる町の「自慢できる点」、「改めたい点」はどのようなことか考えてもらう。</p>	
	15分	内容の振り返り①	<p>思考を深めてもらうために、ワークシートの下記のような設問に対して、自分の意見を記入してもらう。</p> <p>〈設問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修工事の終わった堤防を、更に発展させたいという謙吾の提案はどう思いますか？ ・桜堤という夢のような提案が、なぜ成功したのでしょうか？また、完成したときの村民の気持ちはどんな気持ちだったのでしょうか？ 	
	15分	内容の振り返り②	<p>周りとは意見交換し、更に思考を深めてもらうために、何名かの生徒にワークシートの意見を発表してもらう。</p>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 ・他の地域との関わりについて考え、他国（他人）への配慮もできる人間になる。 ・生命の有限性や尊さを感じ取り、かけがえのない自他の生命を大切に <p>にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 「子どもの人権 1 1 0 番」、 「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1080205032	対象年齢層 (学年)	中学生
カテゴリ1 (大分類)	外国人	カテゴリ2 (小分類)	偏見, 差別的取扱い
タイトル	差別のない世界へ		難易度 中級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、外国人への差別意識の解消を目指し、人種差別に苦しんだ中学生の作文をとおして、生徒一人一人が、差別を受けた生徒の苦しみを理解し、思いやりの心や、人権意識の重要性に気付くことをねらいとする。		
教材の内容	<p>第30回全国中学生人権作文コンテスト文部科学大臣奨励賞受賞作品 中学生の作者は、アメリカ人の父親と日本人の母親を持ち、髪質や肌の色の違いで幼稚園のときから差別を受けてきた。 父親は、二つの文化を受け継いで、自信と誇りを持って生きていってほしいと幼い頃からいつも話していた。 中学生になって、差別発言をされたとき、自分が傷付いたことを相手に伝えて、人権意識の欠如から起きてしまった偏見や差別意識に気付かせることができた。</p>		
備考	<p>使用教材：平成27年6月1日公益財団法人人権擁護協力会発行、全国人権擁護委員連合会編集冊子「種をまこう『人権って何だろう』いっしょに読んで考えよう」、人権作文、ワークシート 使用物品：模造紙、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ（差別）について 	
展開	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権作文について ・そのときの気持ちを考える 	<ol style="list-style-type: none"> ① 「種をまこう」の冊子を紹介する。 ② 人権作文「差別のない世界へ」を生徒が各自で読み、ワークシートに回答を記入する。 	
	25分	内容の振り返り	<p>ワークシートの設問に対して、意見を交換し、思考を深めてもらうために、何名かの生徒に発表してもらう。</p> <p><設問例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「このグループは日本人しか入れないの。リコちゃんはハーフだからダメ！」という言葉についてあなたはどのように考えますか？ ・「自分に自信とほこりをもちなさい。二つの文化を受けつぐことは素晴らしいことだよ。」と言った父親の気持ちについてどう考えますか？ ・あなたは、世界からいじめや差別をなくすために、どのようなことが大切だと思いますか？ 	
まとめ	10分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 人権尊重の精神の大切さ及び外国人差別の解消の大切さ ◆ 「子どもの人権 1 1 0 番」, 「SOSミニター」の紹介 	

番号	1030205060	対象年齢層 (学年)	中学生
カテゴリ1 (大分類)	子ども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ
タイトル	いのちのコトバ	難易度	初級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	人間のいのちはかけがえないものであることを伝え、いのちについて考えてもらう。		
教材の 内容	<p>余命宣告を受けた渡部さんの「みんなに悔いのない人生を送ってもらいたい。」というコトバ。助産師矢島さんの「何よりも、やっぱり元気に生きて欲しいと思う。元気に生きていけたら、何でもできるもんね。」というコトバ。幼い頃から難病を患う坂井さんの「病気である私だから、今私の周りにいてくれる人たちに出会えたというのが宝物なんですね。」というコトバ。子供専用窓口「子ども110番」でみんなの話し相手をつづける西宮さんの「今苦しいな、いじめにあつてとてもつらいなと思う子は、そこから何とかして脱出したいし、私も一生懸命応援したいと思っているの。」というコトバ。</p> <p>いろいろないのちのコトバを聞いて、そして、「いつの日にか終わりを迎えるいのち」、「誕生するいのち」、「困難を抱えながらも輝いているいのち」、「ほかの生き物のいのちを食べながら生きている私たちのいのち」、「あなた自身の大切ないのち」など様々ないのちについて考える。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「いのちのコトバ」、ワークシート 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン)、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	3分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ（いじめ）について 	
展開	30分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「いのちのコトバ」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいらないか確認する。 プロジェクターの操作等，担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	14分	内容の振り返り	<p>周りとは意見交換し思考を深めるため，グループに分かれ，ワークシートに意見を記入し各グループに発表してもらう。DVDを視聴させ、いのちのコトバを聞いて、どう感じたかをグループで考えてもらう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「いのちの終わりに」で渡部成俊さんの「二度とない人生だ。死んだらおしまいだ。」を聞いてどう感じましたか？ 2. 「誕生するいのち」で赤ちゃんが生まれてきた場面を見てどう感じましたか？ 3. 「病とたたかういのち」を観て、自分が病気の人や周りの人にできることはどんなことだと思いますか？ 4. 「いじめ いのちを損なうもの」を観て、いじめで辛い思いをしている子にどんなことをしてあげればいいですか？ 5. 「夢にチャレンジする」を観て、夢を実現のためにはどんな努力が必要だと思いますか？ 	
まとめ	3分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 「生と死」、人間のいのちはかけがえないものだということの大切さ。 ◆ 「子どもの人権 1 1 0 番」, 「SOSモニター」の紹介 	

番号	1050105066	対象年齢層 (学年)	中学生
カテゴリ1 (大分類)	障害のある人	カテゴリ2 (小分類)	障害のある人一般
タイトル	絆		難易度 初級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	自己と他者との違いについて、理解し、認め合う心を育てる。		
教材の 内容	<p>中学校の卒業を控えて、小学生の時から同じラグビースクールでプレーしてきた健太との今までを振り返ります。中学生になってから手に障害を持つチームメイトの健太を周囲の大人たちがもっと手助けをするように言いますが、作者は必要以上の手助けが健太を傷つけ、居場所や生きる力を奪っているように感じます。そのことを作者は健太から直接聞いたことはないけれど、パスをつなげば考えていることが伝わり、本当に大切なことが分かるように思っています。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「未来を拓く5つの扉～絆～」 ※第31回全国中学生人権作文コンテスト入賞作品、ワークシート 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン)、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	8分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 本日のテーマ（障害）について</p>	
展開	11分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「未来を拓く5つの扉～絆～」</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等，担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	8分	内容の振り返り①	<p>ワークシートを配布し，下記のような設問に対して，意見を記入してもらう。</p> <p>〈設問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人が健太を助けるように言った理由，チームメイトが特別扱いしなかったのはなんででしょうか？ ・必要以上の手助けをされた時の健太の気持ちはどうだったでしょうか？ 	
	18分	内容の振り返り②	<p>思考を深めるために，グループに分かれ意見交換をし，ワークシートに記入した内容について，各グループに発表してもらう。</p>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 ・ 他者を理解し，認め合うことの大切さ。 ・ 人権を守ることの大切さ。 ◆ 「子どもの人権110番」，「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1030205061	対象年齢層 (学年)	中学生
----	------------	---------------	-----

カテゴリ1 (大分類)	子ども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ
タイトル	立ち止まる		難易度 中級
時間	50分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型 , 椅子なし型		
ねらい	一人ひとり違って当たり前であることを理解したうえで、落ち込んでいる人がいたときには、その人に声を掛ける前に、その言葉を言うことで相手の気持ちを和らげたり、冷え切った感情を温めてあげることができるかを、一度立ち止まって考えることの大切さを学習する。		
教材の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生である作者は上級生のいじめがきっかけで、クラスメイトからもメガネをからかわれるいじめの対象となってしまう。 ・学校に行けなかった作者を心配して自宅を訪問した担任の先生言葉によって、作者はいじめを克服する。 ・作者を傷つけたのは同級生の言葉だが、作者を救ったのも先生の温かい言葉だった。 ・相手に言う言葉で相手の気持ちを和らげたり、楽しませたり、毛布のように相手の冷え切った感情を温めてあげることができるか、一度立ち止まって考えてみる事が大切である。 		
備考	使用教材：DVD「未来を拓く5つの扉（立ち止まる）」 ※平成24年度全国中学生人権作文コンテスト法務事務次官賞の作品、 ワークシート 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー （またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン）、SOSミニレター		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ (いじめ) について 	
展開	5分	展開	いじめが人権侵害であること，一人ひとり違って当たり前であることを説明	
	10分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「未来を拓く5つの扉（立ち止まる）」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等，担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	15分	内容の振り返り	<p>思考を深めるために下記のような発問に対して，何名かの生徒に発表してもらう。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『僕』が変だからいじめのターゲットにされたのしょうか？ ・心配して自宅に来てくれた先生が『僕』を一言も責めなかったのはどうしてでしょうか？ ・『猛毒になる言葉』や『暖かい毛布になる言葉』とは具体的にどんな言葉でしょうか？ 	
まとめ	10分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 言葉を言う前に一度立ち止まって考えることの大切さ。 ◆ 「子どもの人権 110番」, 「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1090505039	対象年齢層 (学年)	中学生
カテゴリ1 (大分類)	ハンセン病患者等	カテゴリ2 (小分類)	ハンセン病患者に対する偏見, 差別的取扱い
タイトル	NO! と言える強い心をもつ	難易度	初級
時間	50分	対象人数 の目安	学級30~40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型, 島型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンセン病について正しく理解をする。 ・ハンセン病問題を通じて, 差別や偏見をなくすため私たちができることを考え, 「NO! と言える勇気」, 「正しく知って, 正しく行動する」ことの大切さを理解する。 		
教材の 内容	<p>作者は, 元ハンセン病患者の金さんとの交流を通じ, ハンセン病になったことで, これまで社会から厳しい差別や偏見の目を向けられてきた事実を知ります。</p> <p>これは, 今の時代においても「いじめ」という名の差別が存在し, これら2つの問題は根底では同じであることに気づきます。</p> <p>そこで, 作者は自らの意思でいじめや差別にNO! と言えるようになると決意します。</p>		
備考	<p>使用教材: DVD「未来を拓く5つの扉 (NO! と言える強い心をもつ~ハンセン病問題から学んだこと~)」</p> <p>※原作: 平成25年度第33回法務大臣賞 (全国中学生人権作文コンテスト入賞作品), 掲示用カード「ハンセン病とは」「NO! と言える勇気」「正しく知って, 正しく行動する」, ワークシート</p> <p>使用物品: テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン, プロジェクター及びスクリーン), SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマについて 	
展開	12分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「未来を拓く5つの扉（NO！と言える強い心をもつ～ハンセン病問題から学んだこと～）」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等，担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	8分	内容の振り返り①	<p>思考を深めるために，下記のような設問に対して，ワークシートに記入してもらう。</p> <p>〈設問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンセン病患者は，なぜ差別や偏見の目を向けられたのか？ ・差別や偏見はどのようにして生まれるのか？ ・差別や偏見をなくすため私たちにできることは何か？ 	
	20分	内容の振り返り②	<p>他者の意見から気づきと理解を深めるため，グループで意見交換をし，各グループにワークシートの設問について発表してもらう。</p>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 ・ 正しく知って，正しく行動することの大切さ ・ 差別や偏見をなくすため，NO！と言える勇気を持つことの大切さ ◆ 「子どもの人権110番」，「SOSミニレター」の紹介 	